

京都薬科大学研究ポリシー

2020年4月1日制定

京都薬科大学（以下「本学」という。）は、建学の精神である「愛学躬行」に則り、永年にわたり基礎から臨床までの幅広い薬学領域において常に最先端の研究を推進し、多くの実績を上げてきた。これまでの本学の研究業績と特色を踏まえ、高等学術機関としての矜持をもって、より一層の全学的研究成果を生み出し、教育へ反映させることを目指して、本学の研究ポリシーを以下のとおりに定める。

1. 研究理念

本学は、先端的で高度な研究を通じて人類の健康と福祉に貢献するというビジョンの下、本学の独自性に基づく学術研究を推進する。

2. 研究の自由の確保

本学は、研究者の自律的かつ自由な意思に基づく学術研究を尊重する。

3. 研究プロジェクトの推進

本学は、全学的な研究実施体制および研究支援体制に基づく共同研究プロジェクトを強力に推進する。

4. 研究の教育への反映

本学は、先端的な研究活動により涵養される科学的思考力に基づく教育を推進し、科学と社会の発展に寄与できる人材を育成する。

5. 研究成果の社会還元

本学の研究活動において得られた成果を公表し、広く社会に還元する。

6. 研究者の責務

本学のすべての研究者は、科学者としての倫理規範を遵守し誠実に研究活動を行う。研究に関する法令等を遵守し公正かつ責任ある研究活動を行う。

7. 研究環境の確保

本学は、本学のすべての研究者がその研究活動に基づく自らの責務を果たすために必要な研究施設、機器および研究費の確保に努める。

8. 軍事関連研究の不実施

本学の研究活動は人道に反しないことを原則とし、軍事目的の研究を行わない。